

(様式3)

事業所名 グループホームソフトハンド茨島

目標達成計画

作成日: 平成28年2月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	居室内に、危険が予測される箇所が見受けられる。	一人ひとりの居室の危険箇所をチェックし、撤去または配置換えを行い、危険を防止する。	・洗濯物干しの撤去または高さ、位置の変更 ・立ち上がりや歩行時のルートの危険物のチェック ・利用者様の現在のADLの把握	3ヶ月
2	4	運営推進の議事録の記入方法に難があり、情報の共有が出来ない。	形式的な略された内容ではなく、誰が読んでも、その時何が話し合われたのかが分かる内容にする。	・参加者名に家族や役職等の記載を行う。 ・時系列に沿って、「いつ」「誰が」「誰に」「何を」話し、それに対し「どう答えたか」を明確に記入する。	3ヶ月
3	33	避難訓練時、施設内での訓練、想定はなされているが、避難後の動きについては不十分である。	施設外への避難までの訓練内容を見直し、より現実的な動きが出来るようにすると共に、これまで不十分であった避難後の流れや動き方の確認を行う。	・流れ作業や想定ではなく「実際に」避難させた場合の所要時間や難点等を把握し、話し合う。 ・避難後はどこ誘導し、誰が何を行い、近隣の方々へどのように協力を依頼するのか等を細かく確認し、改めて地域住民への説明を行う。	6ヶ月
4	27	地域資源の活用がまだ不足している。	近隣の地域資源の活用、PR方法の検討を行う。	・隣接する幼稚園との交流の機会を増やす為に、こちらからももっと働きかけ、理解と協力を得る。 ・行事や外出先を増やし、公共施設や機関をもっと活用する。カラオケボックスや飲食店なども可能であれば活用する。また、広報の使用も検討。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。